

鏡川流域パートナーシップだより No.214 R7.5.9



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

令和7年度「鏡川ウォーク」で鏡川下流の名所にチェックイン！



5月7日(水)、高知大学地域協働学部1回生60名を対象にした「課題探求実践セミナー『地域を知る』」の授業で、まちのコイン「ぼっちり」のスタンプラリー機能を活用しながら鏡川沿いを歩く課外学習「鏡川ウォーク」が行われました！チームに分かれ、鏡川下流の各所に設置された「ぼっちり」のQRコードを読み取ったり、鏡川にまつわるお題に挑戦したりしながら、鏡川沿いを歩きました！

※対象の体験とチェックインをクリアすると、自動でアプリ内にスタンプが押される仕組み

※「鏡川ウォーク、楽しむぞ！オー！」のかけ声で、紅葉橋からスタートしました！



チェックイン① 鏡川漁業協同組合



事務所前の掲示板や事務所内に設置されたQRコードを読み取ってぼっちりをゲットします。鏡川漁業協同組合の職員さんと学生の皆さんの交流の機会にもなりました！



鏡川清流保全条例に基づく自然環境保全区域を示す看板に貼られたQRコードを読み取ります。「自然環境保全区域っていっぱいあるんですね！全部回ってみました」と高知市職員に声をかけてくれた学生さんに元気をいただきました！



チェックイン② 石立八幡宮の森



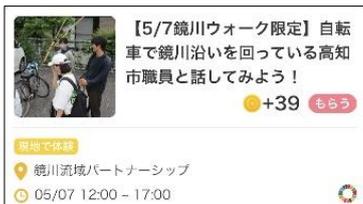
橋に設置されたQRコードを読み取りつつ、橋から見える鏡川を背景に記念撮影！



橋に設置されたQRコードを読み取ります。赤くて大きな天神大橋と、鏡川沿いを元気に歩く学生さんの姿がとても素敵でした！

チェックイン④ 天神大橋

また、日頃から鏡川流域に関わる高知市職員も、鏡川ウォーク中に鏡川沿いを散策しながら学生の皆さんとの交流を楽しみました！職員の名札には、「39(サンキュー)ぼっちり」をプレゼントする体験のQRコードを仕込んでおり、学生の皆さんは職員の名札にスマートフォンをかざしてQRコードを読み取りながら、「熱中症に気を付けてくださいね！」「この近くで魚が獲れる場所がありますか？」など、気さくに話しかけてくれました。



★次回の記事でも、鏡川の自然や人との関わりを考える鏡川ウォークの様子を紹介します！



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone



Android